特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

REC'D **17 NOV 2005**WIPO PCT

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(3 10)			
出願人又は代理人 の登類記号 TU04-1006W01	今後の手続きにつ	ついては、様式PCT	/IPEA/416を	参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2004/015707	国際出願日 (日.月.年) 22	2. 10. 2004	優先日 (日.月.年) 05.	. 11. 2003
国際特許分類(IPC) Int.Cl. C09D11/00	, B41J2/01, B41M	5/00, H05K3/18		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社日鉱マテリアルズ				
1. この報告 容は、PCT35条に基づきこ 法施行規則第57条 (PCT36条)の	規定に従い送付す	る。	予備審査報告である。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	含めて全部で	3 ~-	ジからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付され a.	ている。 ページでも	うる。		
□ 補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙 (P	きとされた及び/又 C T規則 70.16 及	スはこの国際予備審査 なび実施細則第 607 号	機関が認めた訂正を含む 参照)	り明細書、請求の範
「 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示し 国際予備審査機関が認定した	たように、出願時 :差替え用紙	幹における国際出願の	開示の範囲を超えた補 頭	Eを含むものとこの
b. 🗍 電子媒体は全部で			(館で批告の	
配列表に関する補充欄に示すよ	うに、電子形式に	よる配列表又は配列	 受に関連するテーブルを	種類、数を示す)。 ▶含ォೀ
(実施細則第802号参照)				•
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	 含む。			.
▼ 第 I 欄 国際予備審査報告				
□ 第Ⅱ欄 優先権□ 第Ⅲ欄 新規性、進歩性」	7.け産業上の利用で	でははたっしての国際	Z/####### 07/6-b	
□ 第IV欄 発明の単一性のグ	マ如			
▼ 第V欄 PCT35条(2)に	規定する新規性、	進歩性又は産業上の利	用可能性についての見	解、それを裏付
けるための文献 が 「 第VI欄 ある種の引用文献				
第VI欄 国際出願の不備			•	
	泛意見			
第四個 国際出願に対する				
「 第WM 国際出願に対する 				
□ 第四個 国際出願に対する■際予備審査の請求替を受理した日		国際予備審査報告を	作成した日	
「 第WM 国際出願に対する 		1	作成した日 L1. 2005	
□ 第四個 国際出願に対する■際予備審査の請求替を受理した日		07.	11. 2005	3 S 3 4 2 3
「 第四個 国際出願に対する国際予備審査の請求替を受理した日31.03.2005名称及びあて先日本国特許庁(IPEA/JP)		07. : 特許庁審査官(権限	11. 2005	3 S 3 4 2 3
「 第 個		07.	11. 2005	3 S 3 4 2 3

第	I栩	報告の基礎			
1.	雪雷	香に関し、この予備 額	本木和牛片以下	このも虻跡レ	
٠.		音に関し、この予備者 出願時の言語によ		ものを忠定し	した。
	_	出願時の言語によ		の母類がある	また ままされる マン 一 アン 国際 単原 アン おおも ナ
	l1	国際調査 (P(_	
		□ 国際公開 (P)			
		国際予備審査			(a))
_					
2.	このたま)報告は下記の出願せ 整替え用紙は、この幸	§類を基礎とした 報告において「出	:。(法第6条 顧時」とし、	
			啓類		
		第		ページ、	出願時に提出されたもの
		第		ページ*、	出願時に提出されたもの 、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	-	第		ペーシ*、	、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第		項、	出願時に提出されたもの
		第		項*、	、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
		я 第		次、 項*、	、付けで国際予備審査機関が受理したもの、付けで国際予備審査機関が受理したもの
					14.7 × FEIGH V VID-FIL SEE VANCOUS SECTION OF THE S
	L	巡回		· 5 /図	Commission of the State of the
		舟 笛		ベーン/ 凶、ページ/図*、	出願時に提出されたもの 、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第		ページ/図*、	一
		配列表又は関連する		•	14.55 a best of all the second best of the Co.
	J.,J		るアーフル る補充欄を参照す	r ること。	
			D 11070101	2	
з.		補正により、下記の	の書類が削除され	した。	
		明細費 開求の範囲	第		ページ 項
		図面	第		
			カに記載すること		
			するテーブル(具		·ること)
4.	П	この報告は、補充	畑に云したように	* この却告に	こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超
~= .	l	えてされたものと	関にかしたように 認められるので、	その補正がさ	と称付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超されなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))
		□ 明細書			
		明神番	弗 竾		ページ 値
		「図面	第		ページ 項 ページ/図
	I	配列表 (具体的	的に記載すること))	
	ľ	一 配列表に関連す	「るテーブル(具	体的に記載す	ること)
					•
* 4	l:	に該当する場合、その	へ田畑/エー "cunore	ュータ し仰ス	چې د د د د د د د د د د د د د د د د د د د
, ,	. ,-	W=1,0400.	ハ田地だに Suberse	3ded ⊂ FC/\	されることがめる。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015707

語求の範囲	. 見解		
請求の範囲	新規性 (N)	韶求の範囲 1-4	有
産業上の利用可能性(IA) 請求の範囲 1-4 有			無
	進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1−4</u>	有
対応及び説明 (PCT規則 70.7) 文献1: JP 3380880 B2 (学校法人立命館) 2002. 12. 20, 段落【0013】-【0027】 文献2: JP 10-317159 A (株式会社ジャパンエナジー) 1998. 12. 02, 段落【0010】-【0012】 請求の範囲1-4に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2に対して対 歩性を有する。文献1及び2には、基板に配線パターンを描画するためのインクジット組成物において、活性化剤カップリングとしてアゾール系シランカップリングを含むインク組成物が記載されておらず、一方、本願発明はそれにより、基板表面 7 担面処理などの前処理を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性を有する。			無
文献及び説明 (PCT規則70.7) 文献1: JP 3380880 B2 (学校法人立命館) 2002. 12. 20, 段落【0013】-【0027】 文献2: JP 10-317159 A(株式会社ジャパンエナジー) 1998. 12. 02, 段落【0010】-【0012】 請求の範囲1-4に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2に対して達歩性を有する。文献1及び2には、基板に配線パターンを描画するためのインクジット組成物において、活性化剤カップリングとしてアゾール系シランカップリングを含むインク組成物が記載されておらず、一方、本願発明はそれにより、基板表面を独面処理などの前処理を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性を有する。	産業上の利用可能性 (IA)		有
文献1: JP 3380880 B2 (学校法人立命館) 2002. 12. 20, 段落【0013】-【0027】 文献2: JP 10-317159 A (株式会社ジャパンエナジー) 1998. 12. 02, 段落【0010】-【0012】 請求の範囲1-4に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2に対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対		請求の範囲	無
歩性を有する。又献1及ひ2には、基板に配線パターンを描画するためのインクジェット組成物において、活性化剤カップリングとしてアゾール系シランカップリングを含むインク組成物が記載されておらず、一方、本願発明はそれにより、基板表面で 独面処理などの前処理を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性を有す。	文献及び説明(PCT規則で	70.7)	
請求の範囲1-4に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2に対して対 歩性を有する。文献1及び2には、基板に配線パターンを描画するためのインクジェット組成物において、活性化剤カップリングとしてアゾール系シランカップリングを含むインク組成物が記載されておらず、一方、本願発明はそれにより、基板表面を担面処理などの前処理を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性を有する	文献1: JP 338	0880 B2 (学校法人立命館) 2002. 12. 2	Ο,
請求の範囲1-4に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2に対して 歩性を有する。文献1及び2には、基板に配線パターンを描画するためのインクジ	文献2: JP 10-	3 1 7 1 5 9 A (株式会社ジャパンエナジー)	
歩性を有する。又献1及ひ2には、基板に配線パターンを描画するためのインクジェット組成物において、活性化剤カップリングとしてアゾール系シランカップリングを含むインク組成物が記載されておらず、一方、本願発明はそれにより、基板表面で 独面処理などの前処理を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性を有す。	1998. 1	2. 02, 段落【0010】-【0012】	
ット組成物において、活性化剤カップリングとしてアゾール系シランカップリング? を含むインク組成物が記載されておらず、一方、本願発明はそれにより、基板表面? 粗面処理などの前処理を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性を有す?	請求の範囲1-4に係る 歩性を有する。文献1)	る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2に対 はび2には 基板に配線パターンを描画するためのイン	してが
租面処埋などの前処埋を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性を有すス	ット組成物において、精	古性化剤カップリングとしてアゾール系シランカップリ)	ングき
配線パターンが得られるという有利な効果を発揮する。	租面処埋などの前処埋	を要することなく、無電解めっきにより優れた密着性をス	表面を 有する
	配線パターンが得られ	るという有利な効果を発揮する。	